

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回守谷市保健福祉審議会		
開催日時		令和8年1月21日(水) 開会:14時30分 閉会:15時30分		
開催場所		守谷市役所 大会議室		
事務局 (担当課)		健幸福祉部 社会福祉課		
出席者	委員	川名委員、小田委員、小川委員、玉置委員、寺田委員、鎌田委員、田中委員、新田委員、松山委員、椎名委員、竹内委員、塩澤委員、橋爪委員、下村委員、石塚委員、石井委員、吉田委員、横山委員、綿引委員、加納委員 計20名		
	事務局	<健幸福祉部> (健幸長寿課)森山次長兼課長、横山課長補佐、 (介護福祉課)前川次長兼課長、長塚課長補佐、 (社会福祉課)高橋課長、芳師渡課長補佐、宮崎主任 <こども未来部> 森山部長、(おやこ保健課)笠見課長、佐藤課長補佐、岡田療育教室長 計11名		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開		傍聴者数	なし
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 【諮問事項】 ・ 守谷市手話言語条例(案)について 【協議事項】 ・ 守谷市総合計画審議会委員の選出について 【報告事項】 ① 令和7年度第2回地域包括ケアシステム分科会開催報告について ② 令和7年度第3回障がい者福祉分科会開催報告について ③ 令和7年度第1回子ども・子育て分科会及び第3回障がい者福祉分科会の開催報告について 4 閉会			
令和8年2月17日		守谷市保健福祉審議会 会 長 竹内 公一 議事録署名 椎名 昭洋 議事録署名 下村 典子		

令和7年度第3回守谷市保健福祉審議会議事録

日 時 令和8年1月21日(水)
14時30分から15時30分
会 場 守谷市役所 大会議室

- 芳師渡補佐 令和7年度第3回の守谷市保健福祉審議会を開会します。
初めに竹内会長にごあいさつを頂戴します。
- 竹内会長 (あいさつ)
- 芳師渡補佐 この審議会の会議録ですが、令和6年5月15日開催の保健福祉審議会
で会議録は発言者の氏名を記載し、記載しない場合は、適宜協議する
ことに決定しています。
議事に入る前に、配布資料の確認をします。事前に配布した資料は7
点、本日配付した資料は1点です。不足があれば、挙手にてお知らせく
ださい。
次に、本日の出席委員は20名です。また、傍聴希望者はありません。
それでは、審議会条例に基づき、会長に議長をお願いします。
- 竹内会長 半数以上の委員が出席していますので、本日の会議は成立します。
今回の審議会は、諮問事項が1件、協議事項が1件、報告事項が3件提
出されています。
議事録署名人は、名簿順で椎名委員、下村委員をお願いします。
それでは、諮問事項No.1「守谷市手話言語条例(案)について」お願
いします。
- 森山次長兼課長 (諮問書を読み上げ会長に提出)
- 竹内会長 改めまして、担当課である健幸長寿課から説明をお願いします。
- 横山課長補佐 (資料「諮問事項No.1-①、諮問事項No.1-②、報告事項No.2(1)」に沿
って説明)
- 竹内会長 こちらは諮問事項ですので、委員の皆さんからご意見を伺った後に採
決を行いますがいかがでしょうか。
- 小田委員 当事者の方々と市職員とが綿密に打ち合わせた結果としての条例案で
したので、分科会でも特段異議はありませんでした。パブリックコメントの
意見がなかったことについては、我が事として捉える方はまだまだ少ない

という背景があるのだと思います。

新田委員

デフリンピック開催もあり、もう少し関心があるかと思いましたが、パブコメの意見はありませんでした。しかし、条例自体は、当事者とのしっかりとした話し合いが作成につながっていると感じました。

横山委員

事前調整がうまくいったために、かえってパブコメで意見が出なかったのではないかという見方は理解できますが、やはり一般市民の関心度は低いと感じます。

竹内会長

その他特にご意見はないようですが、前回の会議も含めてこの条例案に対する議論を十分に重ねてきたこともありますので採決に移ります。

守谷市手話言語条例(案)について賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

それでは採決の結果、案のとおり承認したいと思います。事務局は採決結果をふまえた答申書を作成してください。

続きまして、協議事項No.1「守谷市総合計画審議会委員の選出について」社会福祉課から説明をお願いします。

高橋課長

守谷市総合計画審議会委員の選出についてですが、第三次守谷市総合計画後期基本計画策定のため、令和8年2月から令和9年3月までの1年程度の任期で委員の選出を依頼されています。

竹内会長

事務局案はありますか。

高橋課長

総合計画の施策にも記載のある子ども分野の知見を有されている委員として、松山委員を推薦します。

竹内会長

松山委員はいかがですか。

松山委員

任期1年ということですが、ご指名があれば精一杯務めたいと思います。

竹内会長

他の委員の皆さんに異議もないようですので、松山委員をお願いしたいと思います。

続いて、報告事項No.1「令和7年度第2回地域包括ケアシステム分科会開催報告について」介護福祉課と健幸長寿課から説明をお願いします。

前川次長兼課長、森山次長兼課長

(資料「報告事項No.1」に沿って説明)

- 竹内会長 分科会の委員からお話を伺いたと思います。
- 田中委員 個人的には、9期計画を策定したばかりで、もう10期計画の策定が始まるのかと感じています。また、報告事項の資料にもありますが、国の作った項目を変更できないことにジレンマがあります。
市の介護人材実態調査は非常にボリュームのあるものでしたが、介護人材の正確な実態把握に繋がればいいと思います。
- 小川委員 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、シニアクラブやシルバーリハビリ体操など守谷市で力を入れている施策、さらにラジオ体操やウォーキングなどが質問に反映されていて良いですね。
個人ごとの相談について、自由記述欄にどのような記載があったのか興味があるところです。
- 玉置委員 私自身調査の対象者でした。イエス・ノーに留まらない、回答者の心をくすぐるような質問がとても良かったです。単なるアンケートに留まらず、回答者の健康管理への意識が高まる効果を感じました。
- 寺田委員 ニーズ調査の中の、国の必須項目の質問がやや高圧的な感じがしたので、次回調査の際には県等を通じて内容を改善し、もっと回答しやすくなればと考えます。
回答率は前回よりも上がっているとのことなので、今後に期待しています。
- 石井委員 調査では過去の調査との継続性を求められることもあるので、今回のような設問になったということもあるのだと思います。私自身も調査の対象でしたが、ウェブで回答しました。
- 竹内会長 この調査は、国から県、県から市という形で伝達されたのでしょうか。市は意見を表明する機会があるのですか。
- 森山次長兼課長 夏に、国が都道府県向けに説明会を行っています。また、全国の市町村を対象にしたウェブでの説明会も行っていますが、この場で市から意見を表明できるものではありませんでした。設問についても変更することは難しいものと思われまます。
- 竹内会長 市が国に公的なルートで意見を表明できる機会はほぼないということですね。調査項目の表現が高圧的に感じるという意見がありましたが、今後何かの折に積極的に意見を表明していくことは大事だと思います。
ネット調査はどのように準備したのでしょうか。
- 森山次長兼課長 調査を委託した業者から、さらに別の調査専門業者に再委託して行い

長	ました。
竹内会長	<p>市職員の手間をかけることなく、ネット回答ができるようになった事は良いことかと思えます。</p> <p>続いて、報告事項No.3「令和7年度第1回子ども・子育て分科会及び第3回障がい者福祉分科会の開催報告について」おやこ保健課から説明をお願いします。</p>
笠見課長	(資料「報告事項No.3、報告事項No.2(2)」に沿って説明)
小田委員	療育が伴走型支援に移行するということは有意義なことかと思えます。将来的にはお子さんが成人され、障がい者支援施設の利用に繋がるケースもあるので、相談支援事業所の整備も必要になると思えます。
新田委員	児童向けの民間の発達相談支援事業所は不足していますので、今後課題になってくるかもしれません。伴走型となってからも手厚く当事者からの相談を受けてほしいと思えます。
横山委員	個人の育児では気付くことが難しくても、集団生活の中でお子さんを保育する側が気付いたことを、伴走型支援に繋がられるかもしれません。
松山委員	<p>公立と民間との役割の分担という意味でも、民間保育所に対して市が伴走型支援として関わってもらえるのはありがたく、肯定的に捉えています。</p> <p>ただ、国の方からは規制に関わる話もありますし、経営的に楽な事業ではありません。仮に民間が撤退した場合に、市の役割変更は必要になると考えます。</p>
石塚委員	<p>民間では同様の施設が10施設ほどあるということなので、お子さんに合った施設が選べることは良いことだと思います。</p> <p>気になることとしては、これまでの公立の療育教室の場所がどうなるか、また職員は今後どのように伴走型支援に関わっていくことになるのか教えてください。</p>
笠見課長	心理士や言語聴覚士といった児童の発達に関わる専門職員は、切れ目ない伴走型支援に携わる予定です。今後の施設の利用方法については現在検討中です。
竹内会長	市関係課間での横の連携は重要なことかと思えますが、今後市の体制が変更されるようなことはありますか。
笠見課長	横の連携は大変重要なことです。お子さんの支援に関して、おやこ保健課だけでは行えませんので、体制を見直すというより、関係課との情報共

有を図るための会議や打ち合わせを実施してまいります。

竹内会長

教育の場も関わってくるでしょうし、調整は大変かとも思いますがよろしくお願いします。

他にご意見がないようなので、以上で議題を終了し議長を降ります。

芳師渡補佐

第4回保健福祉審議会は、令和8年3月25日守谷市役所大会議室にて開催予定です。